

建設キャリアアップシステムの基幹システム更新に係る 設計・開発業務一式

本調達における評価方法・選定手順について

基本的な考え方

(第1回検証委員会、第27回運営委員会報告済)

- ・調達仕様書に示した「調達方式・選定手順方式」に基づき、公正性、客観性を担保した評価・選定を行う

概要：価格と技術提案を総合的に評価する「総合評価方式」に準じた調達方式(加算方式)とする

技術評価点と価格点の比率は3:1とする

技術評価点は、設定した評価項目(大項目:9、中項目:31)別に、基準点×評価(係数)で算出する

価格点は、基準価格比で計算する [(1-応札価格／基準価格(35億円))×価格点の配分]

応札価格が上限価格を超えた場合、提案内容の実現性、事業遂行能力が確認できない場合は失格とする

- ・調達先の選定は、建設業振興基金内で候補選定、検証委員会の審議を経て決定し、運営委員会の報告後、公表する

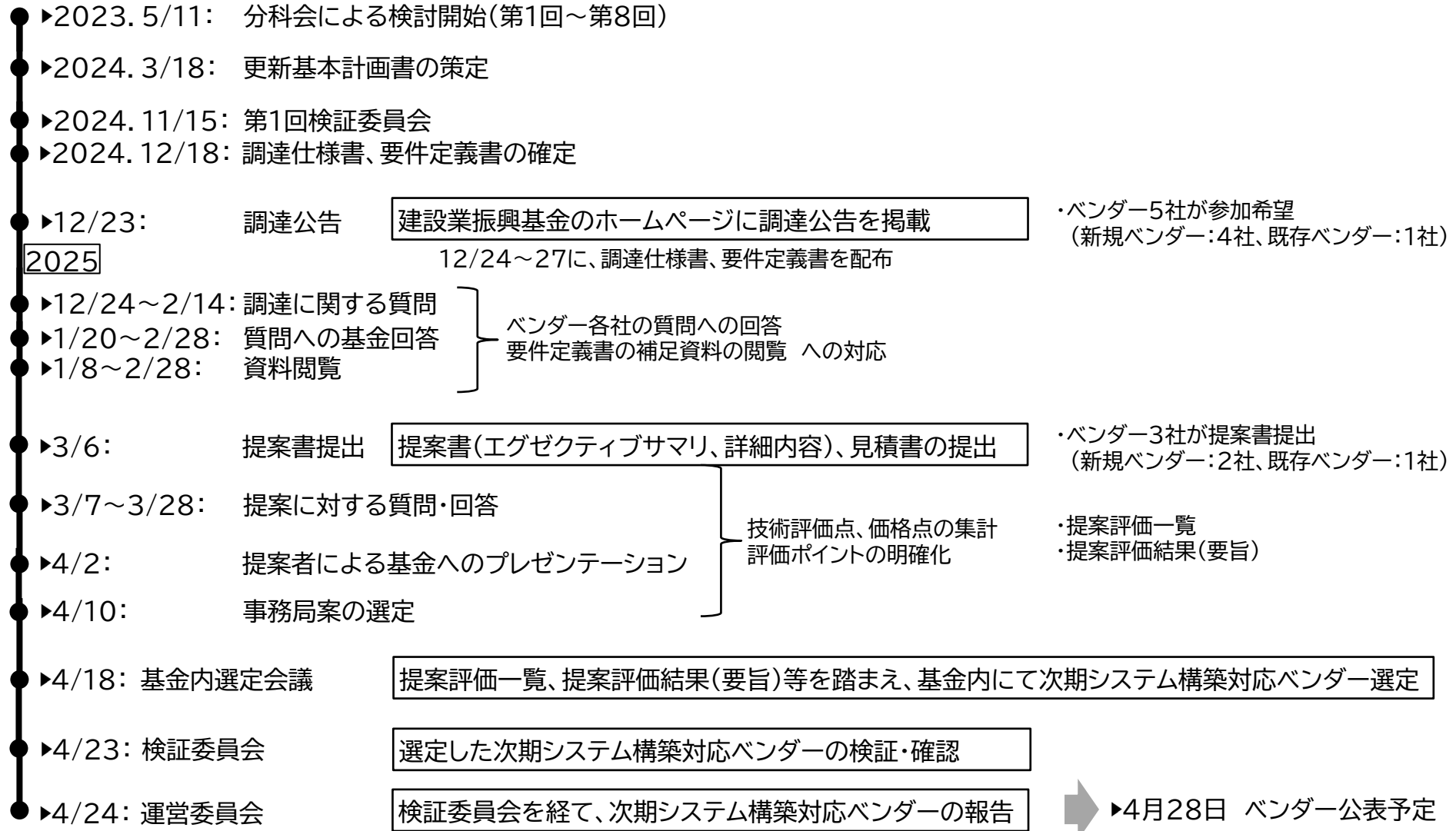
評価方法

- ・評価は、提案書(必要に応じて質問回答を実施)、プレゼンテーションを踏まえ、複数の評価者(5者)が担当する
- ・技術評価点は、各評価者が評価項目(31の中項目別)に技術評価点をつけ、次のステップで最終的に算出する
 - ・(第1ステップ):各評価者が評価と評価ポイントを明確化
 - ・(第2ステップ):各評価者の評価ポイントを相互に確認し、再評価
 - ・(第3ステップ):発注支援事業者の評価結果を参考として、各評価者が最終的な評価を作成し、その評価点の平均から技術評価点を決定
- ・技術点評価点を算出する評価(係数)は、「0:評価に値しない、1:可(基準)、2:良、4:優」を用いる
- ・評価者は、技術評価点の根拠となる評価ポイント(係数:1以外の場合必須)を明確にする
- ・価格点は、基準価格比で計算する

提案評価項目、評価観点

No.	評価項目	評価観点	重要度
1	提案ベンダの実行能力	プロジェクト完遂能力及び、安定的な保守・運用能力を有しているか。	高
2	業務要件、機能要件に対する充足度	『要件定義書』で定めた業務要件、機能要件が実現可能な提案であるか。	高
3	非機能要件に対する充足度	『要件定義書』で定めた非機能要件が実現可能な提案であるか。	高
4	事業規模拡大への拡張性	過去データの蓄積を維持したうえで、規模拡大に応じるシステムの拡張性があり、中長期的な予算見通しを超過しないか。	高
5	安定的なシステムの保守・運用	専任体制が存在しない当財団の体制を踏まえ、安定的な運用・保守を実施する能力があるか。	中
6	利便性の向上、新たな利活用への対応	『要件定義書』で定めた業務要件、機能要件が実現可能な提案であるか。	高
7	移行要件に関する実現度	- 業務、システム、データに関わる移行要件を実現するための工程・手法が具体的な提案であるか。 - 特にシステム・データ移行の実現方法に具体性があるか。	高
8	スケジュール	技能者更新業務、及び現行CCUS基幹システム保守切れなどのマイルストーンを遵守した、妥当性のある開発スケジュールとなっているか。	中
9	その他	特筆すべき、事業運営、システム運営に役立つ内容や追加提案があるか。	低

検討経過等



今後の想定スケジュール

